

**平成28年度宮崎県計画に関する  
事後評価**

**令和2年12月  
宮崎県**

### 3. 事業の実施状況

平成28年度宮崎県計画に規定した事業について、令和元年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業																																																															
事業名	【NO. 1】 病床機能等分化・連携促進基盤整備事業	【総事業費】 542,522千円																																																														
事業の対象となる区域	県全体																																																															
事業の実施主体	医療機関																																																															
事業の期間	平成28年8月10日～令和2年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了																																																															
背景にある医療・介護ニーズ	<p>人口減少や高齢化が進み、今後必要となる病床機能に変化が生じることから、医療機関においては、必要となる病床機能に対応するための施設・設備の整備等が必要となっている。</p> <p>また、将来の地域にふさわしい医療体制を構築していくことが課題となっており、当該課題を解決するためには、県内の医療資源の現状を正確に把握することが必要である。</p>																																																															
	<p>アウトカム指標： 宮崎県地域医療構想の必要病床数と病床機能報告の病床数との比較において不足する病床機能の充足</p>																																																															
	区域名	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2014年度 病床機能報告値</th> <th>2025年 必要病床数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">宮崎 東諸県</td> <td>高度急性期</td> <td>734床</td> <td>高度急性期</td> <td>557.7床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>3,131床</td> <td>急性期</td> <td>1,601.9床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>604床</td> <td>回復期</td> <td>1,323.8床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,355床</td> <td>慢性期</td> <td>961.4床</td> </tr> <tr> <td>(無回答)</td> <td>142床</td> <td>計</td> <td>4,444.8床</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,966床</td> <td>※在宅医療等の必要量(医療需要)</td> <td>6,523.8人/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">都城 北諸県</td> <td>高度急性期</td> <td>12床</td> <td>高度急性期</td> <td>217.6床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>1,871床</td> <td>急性期</td> <td>675.8床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>276床</td> <td>回復期</td> <td>739.2床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>516床</td> <td>慢性期</td> <td>278.4床</td> </tr> <tr> <td>(無回答)</td> <td>92床</td> <td>計</td> <td>1,911.0床</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,767床</td> <td>※在宅医療等の必要量(医療需要)</td> <td>2,184.4人/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">延岡 西臼杵</td> <td>高度急性期</td> <td>42床</td> <td>高度急性期</td> <td>107.8床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>1,120床</td> <td>急性期</td> <td>418.0床</td> </tr> </tbody> </table>		2014年度 病床機能報告値	2025年 必要病床数	宮崎 東諸県	高度急性期	734床	高度急性期	557.7床	急性期	3,131床	急性期	1,601.9床	回復期	604床	回復期	1,323.8床	慢性期	1,355床	慢性期	961.4床	(無回答)	142床	計	4,444.8床	計	5,966床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	6,523.8人/日	都城 北諸県	高度急性期	12床	高度急性期	217.6床	急性期	1,871床	急性期	675.8床	回復期	276床	回復期	739.2床	慢性期	516床	慢性期	278.4床	(無回答)	92床	計	1,911.0床	計	2,767床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	2,184.4人/日	延岡 西臼杵	高度急性期	42床	高度急性期	107.8床	急性期	1,120床	急性期	418.0床
		2014年度 病床機能報告値	2025年 必要病床数																																																													
宮崎 東諸県	高度急性期	734床	高度急性期	557.7床																																																												
	急性期	3,131床	急性期	1,601.9床																																																												
	回復期	604床	回復期	1,323.8床																																																												
	慢性期	1,355床	慢性期	961.4床																																																												
	(無回答)	142床	計	4,444.8床																																																												
計	5,966床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	6,523.8人/日																																																													
都城 北諸県	高度急性期	12床	高度急性期	217.6床																																																												
	急性期	1,871床	急性期	675.8床																																																												
	回復期	276床	回復期	739.2床																																																												
	慢性期	516床	慢性期	278.4床																																																												
	(無回答)	92床	計	1,911.0床																																																												
計	2,767床	※在宅医療等の必要量(医療需要)	2,184.4人/日																																																													
延岡 西臼杵	高度急性期	42床	高度急性期	107.8床																																																												
	急性期	1,120床	急性期	418.0床																																																												

		回復期 170床 慢性期 403床 (無回答) 50床 計 1,785床	回復期 521.7床 慢性期 309.0床 計 1,356.5床 ※在宅医療等の必要量(医療需要) 2,033.5人/日
	日南 串間	高度急性期 0床 急性期 707床 回復期 68床 慢性期 528床 (無回答) 0床 計 1,303床	高度急性期 36.7床 急性期 164.4床 回復期 269.5床 慢性期 406.1床 計 876.7床 ※在宅医療等の必要量(医療需要) 854.9人/日
	西諸	高度急性期 0床 急性期 566床 回復期 171床 慢性期 350床 (無回答) 0床 計 1,087床	高度急性期 26.6床 急性期 163.6床 回復期 398.1床 慢性期 206.0床 計 794.3床 ※在宅医療等の必要量(医療需要) 1,279.6人/日
	西都 児湯	高度急性期 0床 急性期 530床 回復期 107床 慢性期 433床 (無回答) 100床 計 1,170床	高度急性期 17.2床 急性期 151.4床 回復期 415.1床 慢性期 324.0床 計 907.7床 ※在宅医療等の必要量(医療需要) 1,183.7人/日
	日向 入郷	高度急性期 0床 急性期 609床 回復期 108床 慢性期 326床 (無回答) 42床 計 1,085床	高度急性期 35.1床 急性期 180.3床 回復期 349.0床 慢性期 180.7床 計 745.1床 ※在宅医療等の必要量 844.6人/日
	事業の内容(当初計画)	<p>①急性期から回復期への機能転換等を図る医療機関の施設・設備整備費用の一部を補助し、地域における医療機能の分化・連携等を促進する。</p> <p>②県内の医療資源の情報を収集し、データベースを構築して、それをもとに医療機能の分析を行う事業を支援する。</p>	
アウトプット指標(当初の目標値)	<p>①急性期から回復期への機能転換等を図るために、医療機関の施設・設備を整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備医療機関数 5施設</li> <li>・設備整備医療機関数 3施設</li> </ul>		

	②県内の医療資源に係るデータベースの構築 60施設分																														
アウトプット指標（達成値）	①・施設整備医療機関数 1施設 ・設備整備医療機関数 2施設 ②県内の医療資源に係るデータベースの構築 延べ330施設分																														
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： <table border="1" data-bbox="450 506 1383 734"> <thead> <tr> <th>病床機能</th> <th>2014</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>増減 (2018-2014)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>788</td> <td>780</td> <td>797</td> <td>840</td> <td>+ 52</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>8,534</td> <td>8,270</td> <td>8,107</td> <td>7,819</td> <td>-715</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>1,504</td> <td>1,855</td> <td>1,971</td> <td>2,244</td> <td>+740</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>3,911</td> <td>4,200</td> <td>4,073</td> <td>3,953</td> <td>+ 42</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 事業の有効性 将来地域において必要となる医療機能を各医療機関が有するための整備費用であり、今後、地域にふさわしい機能分化・連携を進める上で必須の事業となる。県全体としては、地域医療構想に沿った病床機能の転換となっている。</p> <p>(2) 事業の効率性 事前調査によりニーズを把握した上で、申請のあったもののうち、ヒアリング等により効果が高いと判断したものに補助したため、効率的に執行できたと考える。</p>	病床機能	2014	2016	2017	2018	増減 (2018-2014)	高度急性期	788	780	797	840	+ 52	急性期	8,534	8,270	8,107	7,819	-715	回復期	1,504	1,855	1,971	2,244	+740	慢性期	3,911	4,200	4,073	3,953	+ 42
病床機能	2014	2016	2017	2018	増減 (2018-2014)																										
高度急性期	788	780	797	840	+ 52																										
急性期	8,534	8,270	8,107	7,819	-715																										
回復期	1,504	1,855	1,971	2,244	+740																										
慢性期	3,911	4,200	4,073	3,953	+ 42																										
その他	総事業費 H27:123,183千円、H28:190,347千円、H29:100,400千円 H30: 35,727千円、R01: 92,865千円（基金11,169千円、その他81,696千円）																														

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO.6】がん医療均てん化推進事業	【総事業費】 184,510千円
事業対象区域	延岡西臼杵、日向入郷、日南串間医療圏	
事業の実施主体	関係医療機関	
事業の期間	平成28年8月10日～令和2年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>医療施設や医療従事者の不足・偏在などにより構想区域内で完結することが難しいがんについて、適切な医療が供給できるよう提供体制の強化が必要である。また、それにより、将来の病床の機能区分ごとの必要病床数の達成に向けて、次第に収れんを促していく必要がある。</p> <p>アウトカム指標： がん医療圏ごとにがん医療の中心的役割を担う医療機関の設置及びがん医療提供体制の充実を目指す。 2医療圏→4医療圏</p>	
事業の内容（当初計画）	がん診療連携拠点病院等のないがん医療圏においてがん医療の中心的な役割を果たす医療機関に対し、専門的ながん医療を提供するのに必要な医療機器及び施設の整備を支援する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	専門的ながん医療の提供に必要な設備整備医療機関数 延べ6医療機関	
アウトプット指標（達成値）	専門的ながん医療の提供に必要な設備整備医療機関数 延べ2医療機関	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標： がん医療の中心的役割を担う医療機関が設置されている医療圏数 4医療圏(R1)</p> <p>(1) 事業の有効性 空白のがん医療圏においてがん医療の中心的役割を担う医療機関を設置することにより、県内におけるがん医療の質の均てん化が図られ、県民が等しく、安全で質の高いがん医療を受けられる体制が整備される。</p> <p>(2) 事業の効率性 既存のがん診療連携拠点病院を中心に、各医療機関が連携してがん医療体制の充実を図ることで、限られた医療資源が効率的に活用できると期待される。</p>	
その他	総事業費 H28:0千円、H29:54,910千円 R01:129,600千円（基金30,000千円、その他99,600千円）	

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業																												
事業名	【No.1 (介護分)】 宮崎県介護施設等整備事業	【総事業費】 376,341 千円																											
事業の対象区域	宮崎東諸県、日南串間、都城北諸県、西都児湯、日向入郷																												
事業の実施主体	市町村、社会福祉法人																												
事業の期間	平成28年4月1日～令和4年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了																												
背景にある医療・介護ニーズ	地域包括ケアシステムの構築に向けて、各地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備促進を図る必要がある。																												
	アウトカム指標：地域密着型サービス施設等の定員・宿泊定員数の増により介護サービス提供体制の充実・強化を図る。																												
事業の内容（当初計画）	①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">整備予定施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"><b>【宮崎東諸県】</b></td> </tr> <tr> <td>○宮崎市</td> <td style="text-align: right;">以下3施設で定員・宿泊定員 計45床(計5カ所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所</td> </tr> <tr> <td>○国富町</td> <td style="text-align: right;">9床(1カ所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><b>【日南串間】</b></td> </tr> <tr> <td>○日南市</td> <td style="text-align: right;">9床(1カ所)</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td style="text-align: right;">9床(1カ所)</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型デイサービスセンター</td> <td style="text-align: right;">1カ所</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><b>【都城北諸県】</b></td> </tr> <tr> <td>○都城市</td> <td style="text-align: right;">18床(2カ所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><b>【西都児湯】</b></td> </tr> <tr> <td>○都農町</td> <td style="text-align: right;">9床(1カ所)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">認知症高齢者グループホーム</td> </tr> </tbody> </table>		整備予定施設等		<b>【宮崎東諸県】</b>		○宮崎市	以下3施設で定員・宿泊定員 計45床(計5カ所)	認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所		○国富町	9床(1カ所)	<b>【日南串間】</b>		○日南市	9床(1カ所)	小規模多機能型居宅介護事業所	9床(1カ所)	認知症対応型デイサービスセンター	1カ所	<b>【都城北諸県】</b>		○都城市	18床(2カ所)	<b>【西都児湯】</b>		○都農町	9床(1カ所)	認知症高齢者グループホーム
整備予定施設等																													
<b>【宮崎東諸県】</b>																													
○宮崎市	以下3施設で定員・宿泊定員 計45床(計5カ所)																												
認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所																													
○国富町	9床(1カ所)																												
<b>【日南串間】</b>																													
○日南市	9床(1カ所)																												
小規模多機能型居宅介護事業所	9床(1カ所)																												
認知症対応型デイサービスセンター	1カ所																												
<b>【都城北諸県】</b>																													
○都城市	18床(2カ所)																												
<b>【西都児湯】</b>																													
○都農町	9床(1カ所)																												
認知症高齢者グループホーム																													
	②介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">整備予定施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"><b>【宮崎東諸県】</b></td> </tr> <tr> <td>○国富町</td> <td style="text-align: right;">2床(1カ所)</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td style="text-align: right;">2床(1カ所)</td> </tr> </tbody> </table>		整備予定施設等		<b>【宮崎東諸県】</b>		○国富町	2床(1カ所)	認知症高齢者グループホーム	2床(1カ所)																			
整備予定施設等																													
<b>【宮崎東諸県】</b>																													
○国富町	2床(1カ所)																												
認知症高齢者グループホーム	2床(1カ所)																												

	<p><b>【日南串間】</b></p> <p>○日南市</p> <p>小規模多機能型居宅介護事業所 9床(1カ所)</p> <p><b>【日向入郷】</b></p> <p>○椎葉村</p> <p>特別養護老人ホーム 10床(1カ所)</p>
アウトプット指標 (当初の目標値)	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、第六期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備等を支援する。</p> <p><b>【第六期介護保険事業支援計画/計画策定時 → 28年度末】</b></p> <p>○特別養護老人ホーム 5,672床(102カ所) → 5,844床(104カ所)</p> <p>○認知症対応型デイサービス 39,900回/年 → 46,572回/年</p> <p>○認知症高齢者グループホーム 27,096人/年 → 29,208人/年</p> <p>○小規模多機能型居宅介護 10,620人/年 → 15,324人/年</p> <p>○看護小規模多機能型居宅介護 420人/年 → 864人/年</p>
アウトプット指標 (達成値)	<p><b>【平成28年度】</b></p> <p>○特別養護老人ホーム 5,736床(101カ所) → 5,775床(102カ所)</p> <p>○認知症対応型デイサービス 31カ所 → 38カ所</p> <p>○認知症高齢者グループホーム 2,447床(182カ所) → 2,494床(185カ所)</p> <p>○(看護)小規模多機能型居宅介護 63カ所 → 64カ所</p> <p><b>【平成29年度】</b></p> <p>○特別養護老人ホーム 5,775床(102カ所) → 5,918床(103カ所)</p> <p>○認知症対応型デイサービス 38カ所 → 38カ所</p> <p>○認知症高齢者グループホーム 2,494床(185カ所) → 2,512床(188カ所)</p> <p>○(看護)小規模多機能型居宅介護 63カ所 → 64カ所</p> <p><b>【平成30年度】</b></p> <p>○特別養護老人ホーム 5,918床(103カ所) → 5,931床(103カ所)</p> <p>○認知症対応型デイサービス 38カ所 → 32カ所</p> <p>○認知症高齢者グループホーム 2,512床(188カ所) → 2,491床(182カ所)</p> <p>○(看護)小規模多機能型居宅介護 64カ所 → 64カ所</p>
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標</p> <p>事業実施状況等を踏まえ、当計画の見直しを行い、事業を継続しているため、現段階では観察できない。</p>

	<p><b>(1) 事業の有効性</b>  地域密着型サービス施設等の整備により高齢者が地域において安心して生活できる体制整備が進んでいる。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b>  実施主体と密に情報共有しながら調達方法や手続き等について一定の共通認識のもとで施設整備等を行い、調達の効率化が図られた。</p>
	<p>事業実施状況等を踏まえ、助成対象を改めて精査し、当計画の見直しを行い、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進していく。  充当額 H28:151,099 千円、H30:32,000 千円 (R1 基金充当:32,000 千円)</p>

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.1】介護人材確保連携強化事業	【総事業費】 4,066 千円
事業の対象となる区域	県全体	
事業の実施主体	宮崎県	
事業の期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築を図る。	
	アウトカム指標：介護従事者数 17,609 人	
事業の内容（当初計画）	①行政や職能団体、事業者団体などで構成する「介護人材確保推進協議会」を開催する。 ②介護サービス事業所及び介護従事者に対する実態調査を実施し、介護人材確保に向けた事業の基礎データとして活用する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	介護人材確保推進協議の実施回数 2回/年 実態調査の回収率 60%	
アウトプット指標（達成値）	介護人材確保推進協議会の実施回数 1回 実態調査の回収率 49.4%	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護従事者数（H30）20,531人 <b>（1）事業の有効性</b> 本事業により、各種団体が一堂に会す場が構築され、介護人材の確保・育成等における課題を共有するほか、課題解消に向けた意見交換が積極的に行われるなど、県単位で大きな課題に取り組む機運の醸成が図られた。 <b>（2）事業の効率性</b> 協議会に設置した作業部会を活用して、課題解消に向けた具体案を検討し、基金事業の実効性を高めることができた。	
その他	H28 241 千円 H29 1,311 千円 H30 475 千円 R1 0 千円 R2 809 千円	

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	<b>【NO.2】</b> 「みやざき・ひなたの介護」情報発信事業	<b>【総事業費】</b> 71,367 千円
事業の対象となる区域	県全体	
事業の実施主体	宮崎県（民間への委託）	
事業の期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	2025年には介護職員が22,979人必要と見込んでいるが、推計では3,609人不足するとなっており、高齢者の介護を支える基盤づくりが急務となっている。今こそ介護に対するマイナスイメージを払拭させ、介護のしごとへの理解を通じて介護人材の参入促進を図る必要がある。	
	アウトカム指標：介護従事者数の増加	
事業の内容（当初計画）	① 情報発信番組の制作・放映及び二次利用 ・「介護の魅力」についてテレビ等を活用して情報発信する。 ・放送された番組をホームページで配信するほか、DVDを制作し、二次利用を展開する。 ② パンフレット等の作成、配布 ・介護の魅力を発信するパンフレット等を作成し、県内関係機関等に配布する。 ③ イベントの開催 ・介護の魅力発信を目的とした以下のイベント等を開催する。 ・「講演会」、「介護体験会」等の内容を一体的に行うイベント ④ 職場体験会等の実施 ・介護事業所に小中学生を招いて職場体験を実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	① テレビでの放送回数15回、DVD550枚作成・配布 ② 20,000部作成、配布 ③ イベントの参加者数2,000人 ④ 参加者数120人	
アウトプット指標（達成値）	① テレビでの放送回数15回、DVD550枚作成・配布 ② パンフレット等20,000部作成、配布 ③ 啓発イベント参加者数5,000人 ④ 職場体験会参加者数192人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護従事者数 (H30) 20,531人	

	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>テレビという媒体を使うことにより、多くの県民に対し「介護の魅力」を発信することができた。毎週火曜日の午後 18:55～と視聴者数が多い時間帯に放送することによりで、メインターゲットとする小中高校生とその保護者に見てもらうことができた。啓発イベントは集客力のある大型ショッピングモールで開催したため、一般の方に幅広く介護の必要性や魅力を知ってもらうことができた。また、パンフレットを作成し、県内の中学校・高校等に配布することで、「介護のしごと」の魅力を発信することができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>テレビの放送内容を DVD にすることにより、放送終了後も研修等で効果的に活用されている。啓発イベント及び職場体験会は当初目標を上回る参加者数となり、介護のしごとに対する理解の普及につながった。</p>
その他	<p>H28 3,243 千円、H29 14,276 千円、H30 18,597 千円、R1 15,127 千円、R2 19,702 千円 (H28～R1 は充当)</p> <p>※R1 総事業費は H27 補正分(4,153 千円)とあわせて 19,702 千円</p>